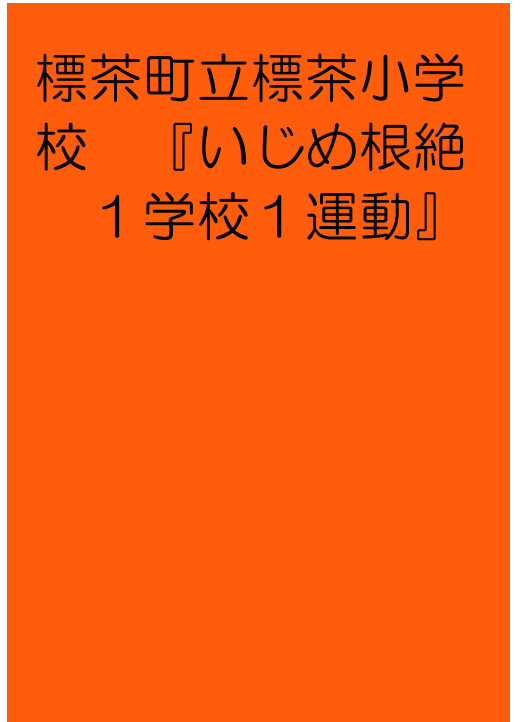


※6年生から4年生へありがとうメッセージ



**児童会が中心に頑張る取り組み！**

〈活動の様子紹介〉

標茶小学校では、児童がお互いに「ありがとう」を伝え合うことで助け合いの精神を持たせ、信頼関係を高めさせるとともに、自分の行いを振り返りながら自己有用感を育むことを目的として「ありがとうBOX」の取り組みを継続して進めています。今年度は「思いやり委員会」を立ち上げ、児童会三役や他の委員会と連携を取りながら進めています。

思いやり委員会が毎週カードを回収し、学級ごとに分別し相手に届けることで、より感謝の思いが伝わるよう工夫しながら進めています。また、今月のありがとう紹介や標小ありがとうランキングなどの企画を通して、全校に紹介や啓発を行っています。

低学年は「ありがとうの習慣化」を第一の目的として取り組んでいます。どの学級も精力的に取り組んでおり、1週間で100枚以上のカードが投函されていることも珍しくありません。

高学年ではカードに頼らずとも日常的に感謝の意は伝えられるようになったため、「外部へありがとうを発信」することを目標に取り組んでいます。運動会や学芸会などの行事では、学年を超えたクラス間での「ありがとう」の交換がなされ、宝物として教室に掲示されている様子がたくさん見られています。

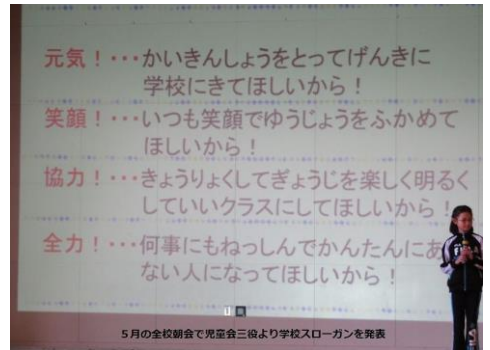
**1. 学校スローガンを核とした児童会活動**

今年は児童会三役が学校スローガン「元気！笑顔！協力！全力！」を考案し、1年間の児童会活動の方針を示しました。「1～6年生みんなが元気と笑顔に包まれていて、みんなが協力ができ全力な学校になってほしい！」この願いを達成するため委員会全てが連携し、「自分たちの委員会はスローガンのどこを担当するのか？何ができるか？」という視点に立って活動を進めています。

**2. ありがとうBOXの取り組み**

全学級に「ありがとうカード」を配布し、学校生活の中で「ありがとう」を伝えたい場合はこのカードに記入し、ありがとうBOXに投函しています。

**学校スローガン**



**カードの分別**



ありがとうカードの仕分け。この日は200枚以上